

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
第 2 章 公募・選考		
2-1	ダイバーシティに富んだチームとは、 どのような構成でしょうか。	大学等の研究者のみならず、業種、文理等の分野、性別、国籍等を問わず、多様な価値観、視点、知見をもち、相互触発によりアイデアを深められるチームを期待します。
2-2	採択後のチームメンバーの追加は可能 ですか。	調査研究の進捗に鑑み、必要なメンバーを追加することができます。
2-3	新型コロナウイルス感染症の影響を受 けた経済社会情勢の変化も踏まえたア イデアの公募とありますが、ワクチン や治療薬といった医学・生命科学分野 の研究開発を主軸にした提案が好まし いですか。	本公募は新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として提案を募集するものですが、医学・生命科学分野の提案に限定するものではありません。感染症の拡大により変容した／する社会を踏まえ、2050年の社会像としてどのようなものを作りたいと考えているか、という観点での様々なアイデアを期待します。
2-4	チームリーダーの所属機関は日本に法 人格があるものの、大学や研究開発を 実施する企業ではありません。その場 合は、必ず大学所属の方にサプリー ダーとして応募していただく必要があ るのでしょうか。	所属機関が日本に法人格がある場合、チームリーダーとして応募することが可能です。 ただし、採択後にJSTと委託研究契約を締結できないことが判明した場合、JSTはサプリーダーの所属機関と委託研究契約を締結します。
2-5	この公募では、具体的な科学技術研究 のテーマを提案しなければならないの でしょうか。	ご提案いただきたいのは、「2050年の社会のあるべき姿（ビジョン）」であり、「『提案するビジョンの実現に至るための科学技術としてどのようなものがあるか』を、どのような調査研究を行うことで明らかにするのか」であります。2050年の社会のあるべき姿に必要な科学技術について、提案者が現時点で考える仮説も提案書に記述されていることは前提となりますが、単なる研究開発テーマの提案や、提案者自身の研究手法等のアピールを行っていただくものではございません。
2-6	内閣府・文部科学省の文書「新たな ムーンショット目標の検討の進め方につ いて」によると、新たな目標は「既定 目標との重複がないよう検討する」 との記載があります。今回の公募は、 既存の7つのムーンショット目標と重 複しない、ニッチな目標案や社会像を 期待しているのでしょうか。	これまでに決定した7つのムーンショット目標は、ある程度広い範囲の社会像をカバーしていますが、その範囲にない狭い分野に限った提案を本公募で求めているものではありません。応募者独自の価値観で2050年に何が必要かを捉えなおし、既存の7つのムーンショット目標と異なる切り口でご提案をいただきたいと考えています。
2-7	審査を英語で受けることは可能でし ょうか。	提案書を英語で作成する、面接選考時のプレゼンテーションを英語で実施する等、一連の審査をすべて英語とすることも可能です。
2-8	目標検討チームの選考基準について教 えてください。	以下（１）（２）の観点に基づき総合的に評価します。より詳しい記載が公募要領p.18-p.19にありますので、必ずご参照くださいますようお願いいたします。 （１）調査研究の対象となる目標候補案の重要性 ・実現したい2050年の社会像を描こうとする気概がみられるか ・提案する目標候補案はInspiringか ・提案する目標候補案はImaginativeか （２）調査研究方法の適切性 ・目標達成に向けた取り組みの波及効果に関する調査方法 ・必要となる研究開発戦略や目標達成シナリオに関する調査方法

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
2-9	チームメンバーの人数に制限はありますか。	チームメンバーの人数に制限はありません。ただし、チームメンバーは、単にアドバイスをを行うだけではなく、調査研究に対して積極的に関与する方としてください。
2-10	20歳未満、あるいは50歳以上でも応募は可能ですか。	可能です。チームリーダー、サブリーダーは 20 歳代～40 歳代の若手人材を想定しますが、次世代を担い得る柔軟な着想を持つ方であれば、年齢、専門分野、国籍、性別、所属機関の属性等は問いません。
2-11	目標検討チームの採択数を教えてください。	採択する目標検討チームは20チーム程度を目安としています。
2-12	この公募で採択された目標検討チーム（20チーム程度）が検討した目標案から、最終的に新たなムーンショット目標はいくつ決定される見通しでしょうか。また、その観点についても教えてください。	採択された目標検討チームがそれぞれ検討したムーンショット目標候補から、最終的に選定されるムーンショット目標は1～2件と想定されています。ムーンショット目標の選定の観点は、既に決定されたムーンショット目標と同様に、Inspiring、Imaginative、Credibleとなります。詳しくは、公募要領p.23をご参照ください。
2-13	公募要領p.7には、「当該ムーンショット目標策定に貢献した目標検討チームにおけるチームリーダー等が、そのムーンショット目標の下で公募・採択される研究開発プロジェクトに参画いただくことを期待」とありますが、その目標検討チームのチームリーダー等がプロジェクトマネージャー（PM）に応募することは必須なのでしょうか。	必須ではありません。新たなムーンショット目標策定に貢献した目標検討チームの方（チームリーダー・サブリーダー・チームメンバー）は、その目標を達成するための研究開発プロジェクトをPM候補として提案する、あるいはPMが提案する研究開発プロジェクトの課題推進者として参画していただくことを期待するものです。 ただし、本公募で提案いただく2050年の社会像のビジョンと、ムーンショット目標決定後に公募するPMの研究開発プロジェクトとは、選考基準が異なることはご注意ください。
2-14	新たなムーンショット目標が決定されたのち、研究開発プロジェクトのプロジェクトマネージャー（PM）の公募が始まるとのことですが、PM1名当たりの研究開発プロジェクトの研究費の規模はどの程度でしょうか。	研究開発プロジェクトの研究費は各PMあたり数億円～数十億円規模です。
第 3 章 採択後の調査研究の実施等について		
3-1	調査報告書は英語で作成しなければならないのでしょうか。	調査報告書は、ムーンショット国際シンポジウムにおいて議論された、Initiative Report（ https://www.jst.go.jp/moonshot/sympo/sympo2019/wg-all.html から各分科会ページへアクセスいただければ閲覧可能です）と同様の位置づけとなります。従って、和文版のほか、英文版もご提出ください。なお、英文版の作成にあたっては、本調査研究費より翻訳業者への外注費用を支出することも可能です。
3-2	調査報告書は全編に亘ってWeb公開されますか。また、いつまでに提出しなければならないのでしょうか。	知的財産権や機密情報が含まれる可能性もありますので、各目標検討チームにおいて、発明に係る等の理由で非公開とすべき箇所を明示していただきます。JSTは報告書を作成した目標検討チームと事前に協議の上、公開可能な箇所のみ公開する予定です。調査報告書は、調査研究終了時点（2021年6月末）にご提出いただきます。

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
3-3	「年度末までの研究期間の確保」の項目がありますが、本事業では基本的には2021年6月に調査報告書を提出し、調査研究期間は終了、ということになりますか。	その通りです。なお、調査報告書のほかに、研究成果報告書、会計実績報告書は共に2021年8月31日を提出期限としています。
3-4	調査研究費（直接経費）の具体的な使途としては、どのようなものが考えられるでしょうか。	例えば、本調査に直接必要となる経費として、以下が考えられます。 なお、再委託は認めておりません。 （１）物品費：本調査研究に必要な設備・備品、ソフトウェア、書籍・消耗品等の購入費 （２）旅費：チームリーダー・サブリーダー・チームメンバーに係る旅費、招聘者に関する旅費 （３）人件費・謝金：本調査研究のために雇用する方の人件費、有識者の助言に係る謝金等の経費 （４）その他：会議費（ワークショップ運営経費等）、機器リース費用、印刷費、英文翻訳費等
3-5	間接経費の割合について教えてください。	JST は委託研究契約に基づき、調査研究費（直接経費）に間接経費を加え、委託研究費として提案者が所属する研究機関に支払います。間接経費は、原則、直接経費に対し、大学等は 30%、それ以外は 10%（ただし中小企業は 20%）が措置されます。 ※ 中小企業の定義は中小企業基本法第 2 条第 1 項（中小企業者の範囲及び用語の定義）を準用し、当該機関の採択が決定した時点の状況に基づいて、判定いたします。
第 4 章 応募に際しての注意事項		
4-1	公募要領p.30「複数の提案をすることはできない」とありますが、ある目標検討チームではチームリーダーとして、別の目標検討チームではサブリーダーとして参画することは可能ですか。	チームリーダーまたはサブリーダーとして応募されている方は、いずれの場合においても本公募において他の提案を行うことはできません。ただし、他の提案を行った目標検討チームにおいて、チームリーダーやサブリーダー以外の役割として参画することは可能です。
4-2	他のムーンショット型研究開発制度への応募制限はありますか。	他の研究開発推進法人（NEDO、BRAIN、AMED）が推進するムーンショット型研究開発制度への応募制限はありません。ただし、JSTが推進するムーンショット型研究開発事業において、プロジェクトマネージャー（PM）として採択された方が、本公募に提案された目標検討チームにおいて、チームリーダーまたはサブリーダーとして参画していることが判明した場合、提案は審査の対象外とします。
4-3	学生だけで目標検討チームを組み、提案しようと考えていますが、チームリーダー・サブリーダーのいずれも、在籍している大学ではe-Radの利用者登録が許可されていません。どうすればよいでしょうか。	提案はe-Radからの申請が必須となります。 まずは、在籍機関の研究支援担当部門等にご相談ください。
4-4	CREST・さがけ・ACT-X・創発的研究支援事業等、JSTの他の事業に参画している方が、本公募へ応募すること、あるいは目標検討チームのメンバーとして参画することは可能でしょうか。	可能です。
第 5 章 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）による応募方法等について		

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
5-1	サブリーダーのe-Radの利用者登録は必要でしょうか。	チームリーダーが応募する場合にはサブリーダーの利用者登録は不要です。ただし、チームリーダーの所属機関が海外等速やかな契約締結が困難な事情があり、サブリーダーがe-Radを通じて応募する場合は、サブリーダーの利用者登録は必要です。
5-2	チームメンバーのe-Radの利用者登録は必要でしょうか。	チームメンバーのe-Rad利用者登録は不要です。
5-3	チームメンバーが11名以上となり、e-Radの入力上限数である10名を超過してしまいます。どうすればよいでしょうか。	チームメンバーが11名以上となる場合には、10名までe-Radに入力してください。入力できなかったチームメンバーについて、e-Radに入力すべきであった情報（氏名（フリガナ含む）・所属機関・所属部署・役職・生年月日・性別・専門分野）を、提案書様式4「職務経歴及び主な実績」に明記してください。
調査研究提案書（記入要領）		
6-1	提案書のファイル容量制限について	PDFに変換した研究開発プロジェクト提案書の容量は、3 MB以内を目途としてください。（なお10 MBを超えるファイルは、アップロードできません）。
6-2	現在受給中の研究費は、提案書【様式5】（1）応募中の研究費、（2）受け入れ予定の研究費、のどちらに記載すべきでしょうか。	受給中の研究費は、（2）受け入れ予定の研究費へご記載下さい。
6-3	提案書様式の各項目について、記入すべき内容について黒字斜体で指示が記載されていますが、削除して良いですか。	削除のうえ、各項目にご記入ください。
6-4	提案書様式では、提案者の記入例として大学所属の方が記載されていますが、提案者は大学所属の方でなければならぬのでしょうか。	これはあくまで記入例であり、提案者の所属について制限するものではありません。サブリーダー・チームメンバーについても同様です。
6-5	提案書【様式5】について、サブリーダーの研究費の受給状況の記載は必要でしょうか。	サブリーダーの研究費の受給状況の記載は不要です。
6-6	提案書【様式2】2. について、「世界中から英知を結集して様々なアイデアの融合を図る場」としては、必ずリアル会場での大規模な国際ワークショップもしくはシンポジウムを開催しなければならないのでしょうか。	リアル会場での国際ワークショップ・シンポジウムに限定するものではありません。国内外の様々な方々と、自らのチームが描く2050年の社会像について意見を交換し、様々なアイデアを取り入れ、知見を深めていく場であれば、オンラインでの会議開催等でも構いません。開催規模は問いません。
6-7	提案書【様式4】では、職務経歴や主な業績を書くことになっていますが、研究実績があったほうが評価されるのでしょうか。	研究業績を考慮した評価を行うことはございません。本欄では、提案者やチームメンバーが調査研究をおこなうにあたり、職務経験の背景をお示しいただきたいと考えています。
その他		
7-1	提案する2050年の社会像に関する具体的なイメージについて、相談を行いたいのですが、対応していただけますか。	提案する具体的な内容に関する個別のご相談は、公平性を担保する観点から承っておりません。制度概要及びビジョナリーリーダーのメッセージについて、動画及び資料を下記URLに掲載しておりますので、ご参照下さい。 https://www.jst.go.jp/moonshot/koubo/202009/index.html

ムーンショット型研究開発事業 新たな目標検討のためのビジョン公募 よくあるご質問（FAQ）

No.	質問	回答
7-2	公募要領の英語版はありますか。	以下のURLに公募要領の英語版を公開しておりますのでご覧ください。 https://www.jst.go.jp/moonshot/en/application/202009/index.html